地域における公益的な取組（令和３年度）

取組の名称	実施日	実施施設名	内　　容
地域連続講座の開催	開催見合せ	伏見障害者デイサービスセンター	地域の訪問看護事業所と共催し、医療と福祉を考える場として地域の方を対象に定期的に（年に数回）開催しているが、昨年度より新型コロナ対策のため開催を見合わせている（再開は未定）。
第19回地域ふれあい夏まつり	中止	洛南身体障害者福祉会館 洛南障害者授産所 ほか	地域の関係機関や事業所と連携して，洛南会館・授産所・南老人福祉センター等を会場に，地元の幼児・小中学生も参加するなど地域の方が多く集い交流する夏まつりを毎年開催しているが，本年度は新型コロナ対策のため中止した。
地域交流スペース「楽」を設置・運営	開催見合せ	東野障害者福祉センター	毎月第2・4火曜日の午後2時～6時にセンター内のデイルームをフリースペースとして開放し地域住民が交流できる場を提供。同時に笑いヨガ教室を午後2時15分～午後3時まで開催。（新型コロナ対策のため開催を見合わせた。再開は未定）
「地域の方の居場所づくり」活動として，講習会や文化教室を開催	随時開催 一時開催見合せ	洛南身体障害者福祉会館	地域の方の居場所づくり活動として，「大人のための頭塾」「マット運動＆室内スポーツ」「バランスヨーガ教室」「東洋医学入門講座」を定期的に開催（緊急事態宣言発出期間中は中止）。「健康麻雀教室」は開催を見合せている（再開は未定）。
ワンコインパソコン教室の開催	開催見合せ	洛南障害者授産所	施設利用者がパソコン講師となり，地域の方などが500円で受講できるパソコン教室を毎年開催しているが，新型コロナ対策のため開催を見合わせた
地域向けコミュニティ誌の発行	令和4年3月発行予定	洛南障害者授産所	地域向けコミュニティ誌「あーる・じぇい」第20号を年度内に8千部発行し地域に新聞折り込みで配布予定
地域交流スペース「ひだまり」の設置・運営	開催見合せ	ふしみ学園分室「ひだまり」	ふしみ学園分室「ひだまり」で各種教室やサークル活動を行うとともに，地域の方が集えるスペースとして開放し，接客は施設利用者が行っているが，新型コロナ対策のため開催を見合わせた（再開は未定）
福祉有償運送「京都ラクシヨーネ」の運行	通　年	福祉有償運送「京都ラクシヨーネ」	主に山科区内及び京都市周辺区域において，移動が困難な障害者や高齢者向けに，送迎車両を利用して低額な料金で輸送サービスを提供した。コロナへの感染対策を講じながら，年中無休で車両運行を実施した。今年度の新規登録者82名。R4.3.8現在での年間実績見込み：年間運行件数4,868件（昨年度比7.7％増）。年間輸送人員7,787人（昨年度比16％増）。年間運行距離50,248km（昨年度比6.1％増）。
「ふれあい誰でもギャラリー」，ボランティア講座等の開催	随時開催 一部開催見合せ	山科身体障害者福祉会館	地域の方の絵画・刺繍などの作品を常時展示する「ふれあい誰でもギャラリー」を通年開設し，地域との交流の場を設けた。恒例の「ふれあい音楽広場」，「視覚障害者ボランティア入門講座」については，今年度は新型コロナ対策のため開催を見合わせた。また、「フリースペース」はコロナ禍により実施できない期間が長かったが、年間で７回実施し、毎回３０人程度の地域住民が親睦と交流を深めた。

取組の名称	実施日	実施施設名	内　　容
「ふらっと相談カフェ」の開催	一時開催見合せ 10月再開	だいご学園	だいご学園「Cafe &shopふらっと」で，月に一度(第１水曜日午後1時～3時)，醍醐いきいき市民活動センターとのコラボ企画として，市民活動・地域活動に関する相談や福祉に関する悩みごと等を気軽に相談できる「ふらっと相談カフェ」を開催。（8月、9月は緊急事態宣言発令中のため自粛） 10月より再開→毎回5，6人の参加があり、子供食堂へ調理器具を譲渡したい、自分の特技を活かして人の役に立ちたい、近所の高齢のご夫婦が二人では生活ができなくなっている等、様々な声を拾いあげ、関係機関につなぐことができた。
「ふらっと」前広場での公園体操	一時開催見合せ 毎週水曜日 10時	だいご学園	閉じこもりがちな高齢者や体を動かす機会の少ない近隣の住民と一緒に地域包括支援センターや地域介護予防推進センターと協働で「だいご公園体操」を実施。 （8月、9月は緊急事態宣言発令中のため自粛、10月、11月実施、12月、1月、2月休止 3月より、地域の人達と作ったオリジナル体操「だいご健康体操」～悠久の歌～を用いて再開。
みんなで作るだいご体操プロジェクト「だいご健康体操」	7月～2月 3月2日より 週1回	だいご学園	ふらっと前で行っている公園体操が少し物足りないとの声があり、「ふらっと相談カフェ」で、地域住民の手でオリジナル体操を作ろうという声が上がっていたため、京都市伏見区区民活動支援事業補助金を活用し、公園体操に参加していた住民や地域の関係機関と共に、「だいご笑顔つながるプロジェクト」を立上げた。コロナ禍のなかではあったが、工夫をしながら話し合い、健康運動指導士の協力を得ながら、高齢者や車いすの人でも続けられるオリジナルの全身運動を考案し、閉じこもりがちで人とのつながりが希薄になってしまった人達にも一人じゃないと感じてもらえるよう、工夫を凝らし撮影した。 2月に自宅でも体操を楽しめるよう、YouTubeチャンネル「だいご笑顔つながるプロジェクトを開設。 ふらっと前広場では3月2日より毎週水曜日10時より公園体操に代わり実施している。
ボランティア受入れ	通　年	洛南障害者デイサービスセンター「あすなろ」	日中一緒に活動して頂くボランティア２名を受入れ。仕事を引退された後の日々が「あすなろ」を通じ充実した生活の一部となるような居場所を提供。 ボランティアを受入れ交流する事で当事業所の利用者、職員にとっても刺激となり、一緒に活動する事で新しい発見を見出す。【毎日来て頂いているボランティア1名（年間181日）・週1日来て頂いているボランティア1名（年間42日）】
ともにいきる地域をめざす　プラットフォームづくり	開催見合せ 9月以降オンラインで実施	支援センター「らくなん」	令和元年度から南区内のネットワークづくりの一環として南区社協、南区役所、洛南障害授産所、「らくなん」を事務局とし、ネットワーク会議を実施している。令和4年度は、9月、10月、11月、2月に、オンライン施設見学会と情報交換会をZOOMで開催した。コロナ禍でもあったため、感染状況や対策方法、課題等を情報共有した。
「あそびの広場」の開催	開催見合せ 下半期は今後計画予定	支援センター「らくとう」	地域の関係機関と連携し，障害のある子どもたちの長期休み期間中に，「障害のあるこどもたちの余暇支援」と「保護者同士の交流」を目的に，「あそびの広場」を開催しているが、今年は夏２回(バーベキューと流しそうめん)、冬１回（お餅つき大会）は新型コロナ対策のため中止。３月には山科川のウォーキング大会を開催予定。
東山区こころのふれあい作品展	開催見合せ 一部ホームページで実施	支援センター「らくとう」	東山区こころのふれあいネットワーク事業の一環として，「東山区こころのふれあい作品展」を開催。精神障害者の作品やその他福祉施設の作品を展示することを通して，精神・知的・身体障害に対する理解を深める機会となったり，区民相互の交流やふれあいの輪を広げる契機となるよう願い，開催してきた。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため，残念ながら開催中止となったが，作品展に向けて各施設や団体が制作した作品等をホームページ上で披露させていただくことになった。（R2.9.7～１年間）

小学校における車イス体験	開催見合せ	伏見障害者授産所（伏見障害者デイサービスセンター）	施設周辺の小学校生に対して、障がい者理解・施設理解を深める目的のため伏見区社会福祉協議会と共催の下、各小学校に出向き車イスの操作方法などの講義を行っている。例年、利用者の方も講師として出向いているが今年度は新型コロナ対策のため開催を見合わせた。
町内会のゴミ収集場所の提供と清掃	通年	グループホームふしみ寮	地域の一員として町内会に加入、ふしみ寮鍛冶屋町の前の道路を町内のゴミ収集場所として提供し、収集後に収集場所の清掃を行い、町内会に貢献している。
ボランティア受入れ	4月～8月自宅で活動 9月～12月活動再開 1月～2月活動中止 3月活動再開	京都市山科障害者授産所	地域の高齢者の方にボランティアとして自主製品の縫製加工を依頼した。月２回所内で活動してもらっていたが、昨年度から継続してコロナウイルスの感染を防ぐために自宅で縫製加工をお願いし、仕上がった商品を授産所まで届けてもらい活動を継続してもらった。９月からは所内で活動を再開したが、１月新型コロナウイルス第６派に入り感染状況が拡大したことで、２月末まで活動を見合わせた。３月からは活動を再開した。コロナ禍で交流の機会が少ない高齢者の方にとっては自宅や所内での活動を通してやりがいや生きがいに繋がった取り組みとなった。
毘沙門市 ～最澄さん～	令和３年 11月27～28日	京都市やましな学園	門跡寺院　毘沙門堂の協力のもと、参拝者の多い秋の紅葉の時期に合わせ、地域の福祉施設の授産製品と地元作家の手作り商品等の販売促進及び活動紹介の場づくりを目的に、実行委員として毘沙門市～最澄さん～を開催しました。
ボランティア講座 ～知的障がいのある人とともに～	令和４年 ３月１日～	京都市やましな学園 京都市山科障害者デイサービスセンター	知的障がいのある人とその家族が安心して暮らせる「まちづくり」のためには、周りのちょっとした支援が必要です。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、動画で知的障がいのある人の暮らしや区内の施設・団体を知ってもらうことを目的に開催しています。本講座をきっかけに、地域で助け合える関係を受講いただいたみなさんから広めていただけるよう、山科区社会福祉協議会や圏域内の施設と共同で開催しています。